

EA340GC-2、EA340GD (ドレンクリーナー)取扱説明書

このたびは当商品をお買い上げ頂き誠にありがとうございます。
ご使用に際しましては取扱説明書をよくお読み頂きますようお願いいたします。

○特長

手動式のドレンクリーナーですが、電気ドリルを取付けて使用することもできます。

○仕様

| 品番 | ケーブルサイズ | 清掃可能パイプ径 | 重量 |
|------------|-----------------|----------|-------|
| EA340GC-2 | φ 6.5mm × 7.5m | 32～50mm | 3.9kg |
| EA340GD | φ 8mm × 7.5m | 38～50mm | 4.5kg |
| EA340GH-31 | EA340GC-2用替ケーブル | | |
| EA340GH-36 | EA340GD用替ケーブル | | |

○各部名称



注意事項

- ・ご使用時は、安全ゴーグルを着用してください。
- ・ケーブルを取り扱っている時は、革手袋を着用して下さい。
織物の手袋を使用しないで下さい。ケーブルが回転中は絶対に触らないで下さい。
- ・清掃用の薬品が使われた排水管でドレンクリーナーを使用する時は気を付けてください。
ドレンクリーナーには腐食性があるので、その薬品に直接触れないようにしてください。
清掃用の薬品が原因で、深刻な火傷に繋がるだけでなく、
ケーブルにもダメージを与える場合があります。
使用する前に排水管の中にある清掃用の薬品を取り除くか、中和して下さい。
- ・回転しているケーブルをつかましないで下さい。
- ・作業を始める前に、コンテナの中のケーブルが壊れたり、よじれたりしていないか、
チェックし、手でケーブルを引き出して摩耗や破損をチェックしてください。
傷んでいる時は新しいケーブルと交換して下さい。

(①手廻しハンドル使用時)

(②電気ドリル使用時)



○手動での使用方法

1. チャックを緩め、コンテナから手でケーブルを引き出して排水管に入れて下さい。
2. 抵抗があるまでケーブルを引き出して下さい。
本体と排水口の間を15cmほど離し、チャックを締めて下さい。
3. ハンドルを時計方向に回転させる等して、ゆっくりと排水口に向けてコンテナを押し込んで下さい。
4. 排水口まで押し込み切ったら、チャックを緩め、15cmほどコンテナを引き戻します。
5. チャックを締め、排水管が貫通するまで上記の手順を繰り返して下さい。
パイプのつまり部分は、前に動かすのが難しいので、ケーブルを前後に動かして障害を取り除いて下さい。
6. 配管のつまりが解消されましたら、ハンドルを少しずつ時計方向に回転させる等して、手でケーブルを引き込ませて下さい。



※ケーブルの出し入れは手動で行います。
ハンドル・電気ドリルを使っての自動送り戻し機能はありません。



電気ドリル使用時の注意事項

- ・ドリルには必ずアース線を取付けて下さい。
事前にコードに傷や擦り切れがないかをチェックして下さい。
- ・延長コードを使用する時は、3芯のコードを使用して下さい。
細い線を使用すると電圧降下し、モーター焼けの原因になります。
- ・作業場所がぬれている時は、ゴム靴、ゴム手袋を着用して下さい。
- ・ケーブルをコンテナより手で出し入れする時はドリルを止めてください。
- ・ドリルが回転している時は、片手でトリガーをコントロールし、もう一方の手でグリップスリーブをつかんで下さい。

○電気ドリル使用時の操作

1. コンテナについているハンドルを外し、そこに電気ドリルのチャックを取付けて下さい。
2. 本製品のチャックを緩め、コンテナからケーブルを手で引き出して排水管に入れて下さい。
3. 抵抗があるまでケーブルを押し出して下さい。本体と排水口の間を15cmほど離し、チャックを締めて下さい。
4. 片手でドリルハンドルを安全に持ち、トリガーを引く前にもう片方の手で本体のスリーブを持って下さい。(写真1)
ケーブルが時計方向に回る様にスイッチ位置を確認して下さい。
5. トリガーを少し引き低速より始めてください。
希望速度でドリルを回転させ、排水管に向かってゆっくり本体を排水口まで押しして下さい。

写真 1



- ※注意**
- ・連続運転スイッチを使用しないで下さい。
 - ・ドリルスピードは 350R.P.M.を越えないでください。
 - ・ケーブルに力を入れないで下さい。
 - ・強く押すとケーブルを痛め、けがをする原因となります。
 - ・ケーブルのもっている力で貫通させてください。

6. 排水口まで押し込み切ったら、トリガーを離し、チャックを緩め、15cmほどコンテナー引き戻します。チャックを締め、排水管が貫通するまで上記の手順を繰り返して下さい。
7. パイプのつまり部分は、前に動かすのが難しいので、ケーブルを前後に動かして障害を取り除いて下さい。
8. 配管のつまりが解消されたら、時計方向に回転させながら、手でケーブルを引き込めて下さい。(ケーブルは時計方向に回転します。)

- ※注意**
- ・ケーブルを排水管に入れる時、出す時にかかわらず常に時計方向に回転させてください。
 - ・配管内でケーブルがひっかかった時のみ、ケーブルを外すために逆回転を使用して下さい。(3～5秒以上回転させないで下さい。)

○メンテナンス

- ・使用後はケーブルを洗い、ケーブルに油を塗って下さい。
- ・潤滑するだけでなく、ケーブルの寿命を延ばすことができます。
- ・定期的にドラムの中に直接油を注入して、コンテナーを回転させると、ケーブル全体に油が染み渡ります。